

皆さんこんにちは。D学院です。きょうどうぞよろしくお願ひします。本校の修学旅行のコースは昨年度から初めて沖縄が入りました。ですから私たちはその最初の学年ということになりました。きょうはその感想を短時間で述べてみたいと思います。

タイトルは沖縄へ行って、モモタマノ木のある公園から美しい海をながめながら考えたこととします。

【修学旅行のおまな行程】は1/25 首里城 1/26 体験学習 万座毛 沖縄記念公園散策 1/27 平和祈念堂にて
平和式典 平和祈念資料館見学 ひめゆり平和祈念資料館見学

1/28 大阪 1/29 自主研修 1/30 帰仙でした。ですから主に27日の紹介になります。

写真記録 1・2・3 首里城……………琉球王朝の名残をしのぶもの。沖縄の文化をまず最初に感じさせるものでした。

4・5……………ホテルのすぐ前の浜辺です。朝食後一斉に走り出しました。海の青さ、美しさに吸い込まれそうでした。先生も狂ったように走ってました。

6・7……………2日目の体験学習光景の一部です。このグループはサトウキビの収穫体験をしました。こちらは何と海の中に潜っています。最高の体験でした。

8・9……………有名な「美ら海水族館」見事なジンベイザメともご対面してきました。

10……………本題になります。これは平和祈念像へお参りする千羽ツルが完成した記念写真です。修学旅行が海外組の生徒も含め130人の2年生全員でおりました。職員室へ呼びかけたら職員からたくさん寄せられました。全部で千羽でなく、1100羽ツルだったと思います。とても嬉しかったです。

11・12・13・14……………平和祈念像には全国からのたくさんの千羽ツルが参りられておりました。私たちも代表生徒が特参のツルを奉げ、館長さんのお話を皆で聞きました。

15・16……………「平和の礎(いしじ)」平和祈念資料館から芝生の庭こた先こあり、広大な海こ面して作られておりました。20万人を超す名前を刻んだたくさんの石碑でした。間こは魂を鎮める木として沖縄の人に愛されているモモタマノ木が整然と植えられていました。「皆さんはよかったですね。こんなに晴れることもないんですよ。」トガイドさんから言われました。確かこの日はお天気がよく、すぐ向こうこは青い海が輝いていました。私たちはガイドさんの案内こ後からついて、それぞれに思いを抱きながら黙して歩きました。

17……………「平和の火」を囲んでガイドさんの説明を受けました。

18……………海は忘れられない美しさをもって私たちに迫りました。ここは沖縄戦で激戦の地でした。

19……………平和祈念の鐘？

20・21……………ひめゆり平和祈念資料館へ入るところです。ここにもモモタマノ木がたくさん植えられていました。もう一枚はひめゆりの塔です。資料館の展示室で見た写真は私たちと同世代の美しい少女たちでした。また展示室で読んだ手記の一部はあとで朗読されますので、聞いて下さい。

このまとめの最後に、帰ってからの感想文を一つ紹介します。

裏こ紹介したのは、ちょうど先日の新聞記事です。「6月23日」の記念日を扱っていたのは朝日と毎日だけでした。

「変えてゆく」という心に迫る詩を、時間があつたら朗読してもらいます。

沖縄・平和学習の感想報告——2回目

atカトリック東仙台教会 in2010. 8. 8

この日の教会の集会祭儀の中で、修学旅行で行った沖縄の平和学習についての感想報告をしました。これは6月27日(日)に元寺小路教会でおこなった正平協主催行事がカトリック新聞に載り、依頼を受けたものでした。

20枚の写真を紹介しながら、二人の生徒で発表をおこないました。以下に、発表原稿の一部を紹介します。

「D学院の修学旅行のコースに昨年度から初めて沖縄が入りました。私たちはその最初の学年ということになりました。きょうはその感想を短時間で述べてみたいと思います。

タイトルは沖縄へ行って、モモタマノ木のある公園から美しい海をながめながら考えたこととします。

(中略)

これは平和祈念像へお捧げする千羽ヅルが完成した記念写真です。修学旅行が海外組の生徒も含め130人の2年生全員でおりました。職員室に呼びかけたら職員からもたくさん寄せられました。全部で千羽でなく、1100羽ヅルだったと思います。とても嬉しかったです。

平和祈念像には全国からのたくさんの千羽ヅルが捧げられておりました。私たちも代表生徒が特参のヅルを捧げ、館長さんのお話を皆で聞きました。

「平和の礎(いしじ)」平和祈念資料館から芝生の庭に出た先にあり、広大な海に面して作られておりました。

20万人を超す名前を刻んだたくさんの石碑でした。間にはお魂を鎮める木として沖縄の人に愛されているモモタマノ木が整然と植えられていました。「皆さんはよかったですね。こんなに青れることもないんですよ。」とガイドさんから言われました。確かにこの日はお天気がよく、すぐ向こうには青い海が輝いていました。私たちはガイドさんの案内に後からついて、それぞれに思いを抱きながら黙って歩きました。

海は忘れられない美しさをもって私たちに迫りました。ここは沖縄戦で激戦の地だったそうです。

ひめゆり平和祈念資料館へ入るところです。ここにもモモタマノ木がたくさん植えられていました。

もう一枚はひめゆりの塔です。資料館の展示室で見た写真は私たちと同世代の美しい少女たちでした。

このまとめの最後に、帰ってからの感想文を一つ紹介します。

『町に眠り、今を生きる歴史』

沖縄はバスの車窓からの眺めが印象的でした。住み慣れた宮城とは全く違う、初めて見る建物や植物…。中でも海が一番綺麗でした。3日目には沖縄戦争について触れましたが、そんな悲しい出来事がまるでなかったかのように、海は静かに輝いていました。戦争の悲惨さを知り、改めて戦争はよくないと思いました。

(中略)

行く先々に異なる文化があり、また異なる歴史も感じられました。沖縄は、今では明るくのんびりとした穏やかな町ですが、その土の下には大きな悲しみが静かに眠っているように思いました。修学旅行ということで、見学時間や見学場所は限られていましたが、その中でも心の栄養として得られたものはたくさんありました。もっと時間のある自由なときに、また訪れてみたいと思います。

この後、6月24日付毎日新聞に掲載された沖縄県立普天間高校3年 名嘉司央里さんの詩「変えてゆく夜」を朗読して終了しました。

50人を超えるたくさんの参加者の前で二人は堂々と発表しました。

会の後で、たくさんの方から「とても感銘を受けましたよ」と声をかけてもらっていました。

驚き嬉しかったのは、「私もD学院の出身ですよ。〇〇先生お元気ですか。」と何人もの方から声をかけていただきました。ありがとうございました。

終了後には、生徒達は十字架の素敵なかawaiiストラップをいただきました。

ありがとうございました。(ST 記)